

## Q まちづくりの将来像は

## A 調整を図り協働を推進



しののめ会代表  
武田 俊和 議員

**Q1** まちづくりと協働の窓口、そして、地域デザインの今後の具体的な計画は。

**A1** 各地域にまちづくり推進委員会を設置し、様々な活動が展開されています。今後も、地域の将来像を描きながら推進され、村は具体的にアプローチしてまいります。協働の窓口は、地域の諸課題の解決のため関係課との連絡調整を図り協働が推進されるよう支援してまいります。



▲元村まちづくり推進委員会で諸葛川を清掃

**Q2** 組織の再編を住民に理解、浸透させるには。

**A2** 第5次総合計画の重点施策と基本政策に合わせ、組織の領域を明確に定めることにより「めざそう値」達成の責任範囲が明らかになり、評価しやすくなると考えます。住民窓口は現在とほぼ変わりなく、広報、ホームページなどを活用し住民の方々に説明し浸透を図ります。

**Q3** 産業振興と雇用の確保をどのように推進するか。また盛岡西リサーチパークの現状は。

**A3** 企業誘致は地域経済の活性化、雇用の点から最重要課題ととらえています。リサーチパークは現在約4割の分譲率です。今後は他の工業用地も検討し、企業立地補助金で企業誘致を推進します。新たな工業用地確保や貸工場、貸事務所などの確保に努めます。

**Q4** 豊かな体験活動の推進、教職員の指導力向上、不祥事の撲滅などの教育施策と、滝沢南中の今後の工事予定は。

**A4** 現在、各小学校で総合的な学習の時間において、米作り、りんご栽培、伝承活動、ボランティアなど、地域の特徴を生かした体験活動を実施しています。今後は中学校にも、実践区を設置し充実していきます。教職員については指導方法の改善研修を充実し、不祥事の根絶のため、コンプライアンスの確立をめざし指導していきます。滝沢南中は18年9月頃には着手し、19年7月完成、夏休み期間に引越し後、北校舎を解体し19年度内に完了の予定です。工事車両の時間規制など安全対策に努めます。